

広 報 誌

小郡市消防団



2014.11.9 発行 第21号

■発行責任者／小郡市消防団 団長 田中保夫
■発行／小郡市消防団 広報委員会

もういいかい 火を消すまでは まあただよ

平成26年度 全国統一防火標語

※小郡市消防団では、秋季全国火災予防運動実施期間に合わせ、11月9日付けで広報誌を発行しております。

この瞬間を待っていた。 歓喜！！6年ぶりの福岡県大会「優勝」

★小郡市消防団のこれまでの成績

(左から開催年・県大会・全国大会)

- 2000年 初優勝
- *2002年 優勝・全国大会準優勝
- 2004年 第5位
- *2006年 準優勝
- 2008年 優勝
- *2010年 第5位
- 2012年 入賞を逃す
- *2014年 優勝・再び全国大会へ!!

*印は全国大会が開催される年です。
県大会優勝チームが出場します。

★第23回 福岡県消防操法大会成績

(自動車ポンプの部)

9月7日／福岡県消防学校(福津市)

- 優勝 小郡市消防団
- 準優勝 篠栗町消防団
- 第3位 宇美町消防団
- 第4位 久留米市消防団
- 第5位 大野城市消防団

写真は今大会、
優秀選手賞(1番員の部)
に輝いた河原徹選手(第5分団)

舞台は11月の東京へ。次は「全国制覇」だ！！

第24回全国消防操法大会 開催日:平成26年11月8日(土曜日) 会場:東京臨海広域防災公園(東京都江東区)



控選手(左から)
山田 繁男 選手(第4分団)
岩屋 昭彦 選手(第6分団)



指揮者
三根 順平 選手(第1分団)



2番員
川邊 力 選手(第1分団)



3番員
西 聡 選手(第6分団)



4番員
松尾 紀亮 選手(第1分団)



優勝よりも、競技が終了したときの 歓声、拍手に感動しました

質問 6年ぶりの県大会優勝おめでとう
ございます。今の感想は？

三根 達成感。そして、最高の結果が出て
嬉しかったです。

河原 小郡市消防団のレベルの高さを実
感しました。

西 「終わった！」という気持ちがある
ありました。そして「休める」と。

松尾 訓練でできなかったことを本番で
出せて嬉しかったです。

山田 正選手で本番へ出たかったので、嬉
しい反面複雑なところもあります。

質問 大会まで厳しい訓練が続きましたが、
どのように感じましたか？

三根 訓練は厳しかったけれども、いろん
な人たちに支えてもらったおかげ
で乗り越えられたと思います。

西 とにかくきつかったです！でも、仲間た
ちとの友情が生まれました。

松尾 指導員やサポートしてくれた団員
や家族など全ての人に感謝です。

山田 最初は辛いと思いましたが、結果的
に面白いし、やりがいがありました。

質問 ポンプ操法だけではなく、水害など
の災害に備えて様々な訓練も行っ
ています。災害が起こった時に、ど
のように行動しますか？

河原 災害時こそ、地域住民の付託に応え
られる消防活動を心がけます。

山田 避難の呼びかけなど、自分ができ
る範囲で地域の人たちに何か役立つ
ことがしたい。

質問 最後に全国大会への意気込みを！

三根 集大成として、悔いのない操法をし
ます。

河原 自分自身の技量を今以上に高めて、
日本一を目指していきます。

川邊 しっかり準備して、優勝めざして頑
張ります。

西 日々努力して、全国一位になっ
てきます。

松尾 やるからには優勝を！

山田 県大会では控選手だったので、正選
手のポジションを狙い頑張ります。

岩屋 6月からここを目標に頑張っ
てきました。小郡市消防団の操法を見
てきます。



“勝つための操法ではなく
「節度」と「美しく」「見せつける」
小郡市消防団らしい操法で
勝負する”

団長 田中 保夫

質問 県大会優勝おめでとうございます。今のお気持ちは？

田中 「まさか!」と思った。感動し言葉がなく、ただ涙が出た。

質問 連日厳しい訓練が続きましたが、団長から見られてどうでしたか？

田中 これまでとは違うやり方をして、消防団から7名、三井消防署から3名の指導員たちが一体となって指導を行った。

その結果、選手たちは圧倒的な「節度」を身に付け、確実に上達していった。小郡市消防団の操法は、「優勝」を狙ったものではなく、自分たちの「操法」、美しい「操法」が目標。毎日、訓練の応援に50名以上が参加し、大変助かった。

質問 災害が起こった際は、何をまずお考えになりますか？

田中 「せないかん」ことはあるが、一番に思うのは団員の安全。団員が怪我や命に関わることがないかを思う。そのために、昨年からは水防訓練時にボートの訓練と炊き出しの訓練を取り入れた。災害には真向勝負はできないが、「組織力」として動くのは消防団が早いはず。ただ、今の体制を維持し、身の丈にあった災害対応をと考えている。

質問 最後に全国大会への意気込みをお聞かせ下さい。

田中 勝つための操法ではなく「節度」と「美しく」「見せつける」操法で勝負する。それが優勝につながればいいと思う。あとは、皆が無事に帰ってくることが大切である。



写真左より、田中保夫団長、監督：花田 誠 副団長、副監督：立石 直輝 第6分団長

“団員による訓練の準備、応援
とても感謝しています
優勝という結果は、選手だけでなく、
小郡市消防団員の一人ひとりの力、
そして家族や多くの関係者の方々
すべての力が積み重なった
成果だと思っています”

監督（副団長） 花田 誠



大規模災害に対する消防団の備え



救命ボート訓練



ボート組立訓練



軽可搬ポンプ訓練



救命訓練



エンジンカッター訓練



炊き出し訓練

大規模災害への対応を意識した消防団活動へ

大都市の消防団では、阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験から、常備消防との役割分担も念頭に置いた上で、「大規模災害を想定した防災訓練」を意識した活動に取り組みはじめています。

大規模災害の発生のおそれは、大都市部に限られません。小郡市消防団においても大規模災害への対応を意識するとともに、三井消防署と連携を図りながら消防・防災活動を進めていきます。

消防団員募集!



自分たちのまちは
自分たちで守ろう!



入団するには、まずはお問合せ下さい。

問合せ先 小郡市役所 協働推進課 ☎72-2111(内線253)

小郡市消防団のホームページを開設しました

小郡市消防団

検索

